

x の関数 $f(x) = x^2 + ax + b$ がある。方程式 $f(x) = 0$ の 2 つの実数解の差が 1 であり、 x の値が 2 から 5 まで変わるときの $f(x)$ の平均変化率が $\frac{13}{2}$ であるとき、 a の値は , b の値は である。

(21 慶應大 薬 1(2))

【答】	イ	ウ
	$-\frac{1}{2}$	$-\frac{3}{16}$

【解答】

$$f(x) = x^2 + ax + b$$

$f(x) = 0$ の実数解の差が 1 であるから

$$\frac{-a + \sqrt{a^2 - 4b}}{2} - \frac{-a - \sqrt{a^2 - 4b}}{2} = 1$$

$$\sqrt{a^2 - 4b} = 1$$

$$\therefore a^2 - 4b = 1 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

また、 x の値が 2 から 5 まで変わるときの $f(x)$ の平均変化率が $\frac{13}{2}$ であるから

$$\frac{f(5) - f(2)}{5 - 2} = \frac{13}{2}$$

$$\frac{(25 + 5a + b) - (4 + 2a + b)}{3} = \frac{13}{2}$$

$$7 + a = \frac{13}{2}$$

$$\therefore a = -\frac{1}{2} \quad \dots\dots \text{(答)}$$

これを $\textcircled{1}$ に代入して

$$b = \frac{a^2 - 1}{4} = -\frac{3}{16} \quad \dots\dots \text{(答)}$$

である。

- $\textcircled{1}$ については次のようにしてもよい。

$f(x) = 0$ の 2 解を α, β ($\alpha < \beta$) とすると

$$\beta - \alpha = 1 \iff (\beta - \alpha)^2 = 1$$

$$\therefore (\alpha + \beta)^2 - 4\alpha\beta = 1$$

$$\therefore a^2 - 4b = 1 \quad (\because \text{解と係数の関係})$$